

令和元年度大島学園学校関係者評価書

大島学園学校長 様

大島学園学校運営評議委員会

学校運営評議委員会の評価結果を次のとおり報告します。

学校経営計画及び学校自己評価			評価(総合)		
学校運営方針	大島の誇りを自覚して、笑顔・信頼・感動に溢れた輝く義務教育学校大島学園の創造			B	
昨年度の成果と課題	本年度重点目標		具体的目標		
○行事等への意欲 ○教職員の指導体制・協働性の向上 ●学力、語彙力、学びに向かう気持ち ●義務教育学校への理解	「新しい時代に必要とされる資質・能力の育成」 ○学力の向上 ○探求心、想像力、忍耐力、実践力、目的意識、自己肯定感の向上		○全国学力診断テスト(文部科学省):全教科区分平均正答率を全国平均以上 ○宗像市統一テスト:全教科全国平均以上、同一児童生徒のポイントアップ ○個人カルテによるきめ細やかな個別学力向上を全職員が把握 ○探求心、想像力、忍耐力、実践力、目的意識、自己肯定感の向上 ○学校評価数値:目標値3以上 ○宗像市学習意識調査「学校生活充実度(楽しい・充実)」90%以上		
評価項目	細目	取組内容	評価(12月)	成果と次年度の課題	
学力向上	基礎・基本の定着	○目標管理シートの作成と活用 ○朝の活動の工夫 ○5年生から教科担任制、1から4年生の一部教科担任制の取組 ○コミセン主催の寺子屋との連携、家庭学習(週末課題)や放課後学習会の実施	A	○全児童生徒の学力向上を目指し、学級担任と担当職員をペアにして、学力テストの結果等をもとに現状分析、短期目標、中期目標、長期目標を設定し、個に応じた具体的な取り組みを実施することができた。 ○校内研修で全教師が、学力テストの分析結果を共通理解し、学年や教科ごとに改善策を立て、試行することができた。 ○研究発表会を通して、生徒が主体的に学び、「わかった・できたが見える」授業を全教師で実践することができた。 ●授業規律を徹底し、読解力や書く力の向上を図る取組を実施していく。 ●目標管理シートをコミセンと連携したり、家庭学習等の充実を図ったりする必要がある。 ●日常の授業から「ふり返し」を単位時間に位置づけ、授業の質をさらに向上させる。	
	主体的な学び、学習意欲の向上	○授業の導入と終末に「ふり返し」を設定した授業の実施 ○「ふり返し」を充実させるための手立ての工夫 ○「大島スタンダード」「学びと生活のすすめ」の作成	B		
人間関係力の向上	個に応じた児童生徒支援・指導の推進	○いじめ・生活アンケートの実施、いじめの早期発見・早期対応、教育相談の実施 ○関係機関(スクールカウンセラー、子ども家庭相談室、児童相談所、警察等)との連携 ○規範意識育成学習会の実施	A	○生徒会挨拶運動の取り組みを中心に、児童生徒のあいさつの向上を図ることができた。 ○いじめ・生活アンケートや教育相談の実施、日常の様相観察を通して、いじめやトラブルの早期発見、早期対応を行った。 ○子ども家庭相談室、SCなど関係機関と連携して問題解決を図ることができた。 ●支持的風土やコミュニケーションスキルを高め、道徳教育、学級活動、行事等の充実を図っていく。 ●あいさつの向上をさらに目指した取組や他者意識を高める取組を実施する。	
	支持的風土の醸成	○5箇条教育(挨拶、掃除、うた、人権、故郷)の推進 ○道徳教育、学級活動、児童生徒会活動の充実 ○児童生徒会による集會「みつめの時間」の設定	B		
組織運営の充実	校務分掌組織の活性化	○小学部と中学部をペアにした校務分掌と主担当制の実施 ○先を見通した早めの担当からの提案 ○各種委員会と校務分掌の連携	B	○経営会議では、教務部が各分掌担当と連携して先を見通した提案し、協議を通して共通理解を図ることができた。 ○研究発表会のすべての授業で、リハーサル授業・協議会を実施し、授業改善の視点を明確にすることができた。 ●組織としてラインスタッフの機能化を図っていく。 ●小中でお互いの授業を公開する教師間交流を実施し、カリキュラムマネジメントを進め授業の質的向上を図る。	
	教師の指導力の向上	○職員会議後に子どもの情報交換の実施による同僚性の向上 ○OJT研修(授業研修)の質的向上 ○へき地・小規模校教育研究大会に向けた授業づくり	A		
教育環境の整備・充実	美しい学校環境づくり	○自ら進んで行う清掃指導の徹底 ○校内(敷地内)の破損箇所の修繕 ○安全点検(毎月)の実施	B	○担当教師の指導の下に、自ら進んで掃除を行うことができた。 ○児童生徒の行事や委員会活動等での活躍をポスターで掲示したり、学年廊下に学びの跡を掲示したりすることができた。 ●校内の破損箇所や危険と思われる箇所については、早急に修繕したり、宗像市教育委員会に要望したりしていく。 ●掲示物について改善されてきたが、教室内や特別教室等の掲示をさらに充実させていく必要がある。	
	児童生徒の姿が見える掲示物の充実	○教科指導、行事、義務教育学校等に関する掲示物の作成 ○児童生徒会専門委員会活動の掲示 ○教室内、校舎内の掲示物の更新	B		
義務教育学校の推進	特色ある教育活動の推進	○外国語教育の充実を図る実践 ○4-5制の実施 ○探究活動の実施 ○きめ細やかな指導の充実を図る実践	B	○1年生から英語専科の教諭が授業を行い、子どもたちが英語に慣れ親しむ活動を中心に学年に応じた成果物を作成することができた。 ○5年生から教科担任制を実施し、専門教科担当による質の高い授業を行うことができた。 ●行事や授業の系統性を整理し、探究活動を取り入れた大島ふるさと学習を構築する。 ●目標管理シートをもとにきめ細やかな指導の充実を図り、学力や社会性を向上させていく必要がある。	
家庭や地域との連携	連携強化	○地域行事と学校行事の連携 ○資源回収や除草作業の実施 ○セツまつり、竹灯籠づくり、コミセン主催のクリスマス会への参加	A	○本部役員会を中心に組織改革や活動の改革を行うことができた。 ○さまざまな地域行事を学校・地域・家庭が連携して行うことができた。 ○義務教育学校としての取組をHPや通信等を通して発信したりすることができた。 ●小中一貫・コミュニティスクールの実施に向けて準備を進める必要がある。その際、学校・家庭・地域の役割を再確認、再構築していく必要がある。	

A 達成できた B 概ね達成できた C 不十分である

自己評価及び学校運営評議委員会の評価をもとにまとめた改善策

--

自己評価に対する学校運営評議委員会の評価	
評価(総合)	自己評価は
A	A 適切である
	B 概ね適切である
	C 適切であるとはいえない
項目ごとの評価	
学校運営評議員の意見	
B	・「わかる・できる」授業をめざすのではなく、子ども自身が「わかるようになりたい、できるようになりたい」という“学びに向かう力”を育てる授業をめざしてほしいと考えます。 ・我が子を見る限り、書かれてる通り、読解力や書く力は向上させていく必要があるなど感じる。 ・昔に比べ学習への意欲はあるのではないかと感じる。 ・目標管理シートの成果が出るのが楽しみです。
	A
A	・小規模校・離島の特性を生かした教師の協働のあり方や同僚性の構築が必要と考えます。風通しのよいチーム ・教師としてのやりがい(働きがい)、支えあい、質の向上に「同僚性」が関わっていると考えます。 ・先生同士のコミュニケーションがとれているのではないかとと思う。 ・学校内の事は良くわかりませんが、小中一つの雰囲気を感じます。
A	・掲示物を通して児童・生徒の姿が見える。また工夫がされている。 ・共同して使用する学習・生活空間を協働して、環境づくりに主体的に取り組んでいくことは大切な視点である。 ・一部設備の老朽化が気になる。 ・教室内にも写真や作品が飾られていてとてもいいと思う。 ・自ら掃除を進んでする事が出来るのは素敵だと思った。
B	・今日の保育所での英語活動(保小連携)はずばらしかった。(子どものクリエイティブな活動から英語コミュニケーションを引き出すスタイル) ・大島ならではの行事で年々子ども参加が減ってきている。 ・小学校1年生からの英語の授業を通してもっと英語が好きになってほしいです。
A	・児童、生徒の姿から地域が活性化していた事例が多くあった。 ・乳幼児期からの育ちの視点をぜひとり入れていきたいと思います。 ・地域や家庭とはよく連携しているように見える。 ・HPなどで学校の様子が細かくわかり、保護者も学校での雰囲気伝わりやすくていいなと思います。
評価項目以外のものに関する意見	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの主体性や自己決定の力の育成をお願いします。 ・子どもに「ことごとん考えさせるところはどこか?明確なねらいを持った授業デザインを」 ・地域の教育力(ヒト・モノ・コト)の活用がなされればいいと思う。 ・成果と課題を「できた・できない」に留まらず、学校経営に生かす方法はないだろうか ・研究発表会で全教師で生徒の主体性を捉えて実践した成果を、日常の授業の中に生かしてほしい。 	